

温州ミカン「大津4号」着色不良果実の着色促進のための予措温度

[要約] 着色不良果実は、常温貯蔵より温度20℃以上で予措する方が着色が早くなり、20℃、25℃で約7日間予措すると7～8分の果実が約80%完着になる。25℃予措は、果皮障害が発生しやすい。

長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
----------------	----	----	----	-----	----	----

平成8年度長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

着色不良果実の高温予措による品質向上、着色促進効果を検討する。

[成果の内容・特徴]

- ① 7～8分着色果の予措期間中の着色は、20℃、25℃予措区で早く、予措開始後7日で約80%の果実が完全着色果になる。
- ② 高温予措を行うと、予措開始時の糖度の高低に関わらず糖度はやや上昇する。減酸量は、25℃でやや大きい。
- ③ 減量歩合は、25℃区がやや大きく、果皮障害の発生も25℃予措区がやや多くなる。

[成果の活用面・留意点]

果皮障害などが発生しないように湿度や換気に注意する。

[具体的データ]

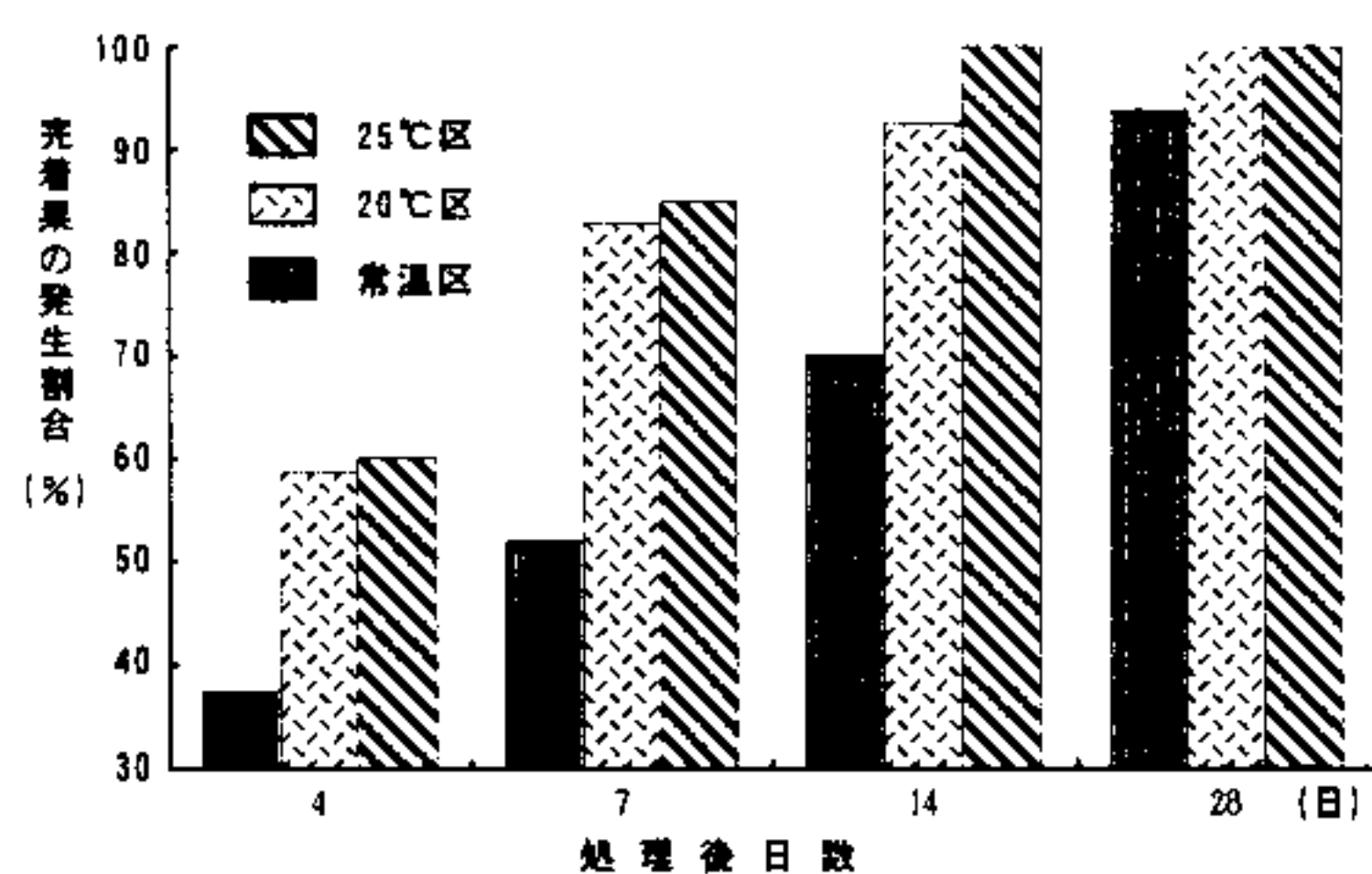


図1 7～8分着色果の予措期間中の完全着色果の発生割合の推移

表1 予措期間中の糖度、酸含量の推移

果実区分	処 理	糖 度			酸含量 (g/100mℓ)		
		開始時	7日後	14日後	開始時	7日後	14日後
低糖低酸樹	20℃予措区	10.7	11.1	11.1	0.88	0.83	0.75
	25℃予措区		10.7	10.9		0.75	0.67
	常 温 区		10.8	10.9		0.93	0.80
高糖高酸樹	20℃予措区	11.7	11.8	12.0	1.29	1.21	1.11
	25℃予措区		12.3	12.5		1.19	1.02
	常 温 区		11.9	11.7		1.25	1.18

表2 予措期間中の減量歩合の推移

処 理	減 量 歩 合 (%)		
	4日後	7日後	14日後
20℃予措区	1.1	2.7	6.5
25℃予措区	1.9	4.1	8.5
常 温 区	1.3	4.0	7.9

表3 予措温度と果皮障害の発生

処 理	発生指数				発生割合 (%)			
	7日後		14日後		7日後		14日後	
	しなび	へた枯れ	しなび	へた枯れ	しなび	へた枯れ	しなび	へた枯れ
20℃予措区	0.5	0.2	1.5	1.7	2.6	5.2	6.4	17.7
25℃予措区	0.8	1.2	1.4	7.8	2.2	7.9	9.0	36.7
常 温 区	0.5	0.4	1.7	1.8	1.7	1.7	5.1	6.7

[その他]

研究課題名 : 温州ミカンの高品質果実生産技術の確立試験  
 予算区分 : 単  
 研究期間 : 平成6年～8年  
 研究担当者 : 中里一郎  
 発表論文など : 平成8年度長崎県果樹試験場業務報告